

試合結果】7/12 オープン戦第2試合：10-9で大激戦を制す！粘りの全員野球で掴んだ劇的勝利！

2026年7月12日（日）に行われたオープン戦（第2試合）の結果をご報告いたします。

第1試合の悔しさを胸に臨んだこの試合は、両チーム合わせて19得点が飛び交う大激戦となりました。序盤からリードを許す苦しい展開となりましたが、選手たちが驚異の粘り強さを発揮し、**10-9**の見事な逆転勝利を収めました！

📋 試合結果（7月12日 オープン戦 第2試合）

- 神戸ポニー **10** — 9 相手チーム（勝利！）
-

	5	3	1	0	0	0	0		9
兵庫神戸	5	1	4	0	0	0	✖		10

📈 部門別ハイライト & 成果・課題

独自の『選手成長ステップチェックシート』に基づき、激しいシーソーゲームのなかで光った選手の活躍と、次戦への課題を定量的に分析しました。

🎯 攻撃部門：長打攻勢と各自の役割で**2ケタ10**得点！

打線が最高の繋がりを見せ、全員の強いアプローチで相手マウンドを攻略しました。

- 恐れぬフルスイングと長打の競演：T.H選手、K.Y選手がそれぞれ2回の初球フルスイングでチャンスメイク！K.M選手、R.S選手、Y.M選手もストライクを迷わず振り抜きました。さらに、Y.M選手の5塁打相当の当たりをはじめ、K.Y選手（4塁打相当）、K.T選手（3塁打・1打点）、K.M選手（2塁打）、T.H選手（2塁打）と、上位・中軸が長打を絡めた集中打を展開しました。
- 足と作戦で掴んだ勝機：K.T選手と中1のT.O選手が抜群の作戦遂行力を発揮し、チームバuntingで得点機を拡大。さらにK.I選手が相手の隙を突く果敢な「積極走塁」を見せ、足でプレッシャーをかけ続けました。

🛡️ 守備・規律部門：苦しい局面で崩れなかった集中力

序盤から失点を重ねる非常にタフな守備展開でしたが、特定の選手における高い集中力が勝利の足場を作りました。

- 極限状態での冷静な状況判断：激しいシーソーゲームの中、**K.M選手とT.H選手**がともに「完璧なアウトカウント把握（5回分・10点）」を記録！さらにK.T選手も冷静に戦況を把握し、野手陣の連動を支えました。

- 高い規律の継続：この大激戦のなかでも、全力疾走の怠慢やサイン見落としなどのボーンヘッドはチーム全体で「ゼロ」！最後まで高い集中力とチームの規律が維持されていました。

投手部門：圧巻の火消しと、次戦への大きな教訓

3名の投手リレーで相手強力打線と対峙。それぞれの成果と、ステップアップのための明確な課題が浮き彫りになりました。

- **K.I**選手（投手スコア：**39点**）★投手部門最高得点
2番手としてマウンドに上がり、「初球ストライク（18点分）」を驚異的な確率で奪う圧巻のピッチング！先頭打者アウト（9点分）や3球以内追い込みも完璧にクリアし、見事に試合を立て直した本ゲームの救世主です。
- **T.H**選手（投手スコア：**27点**）
初球ストライク（10点分）や追い込みまでは果敢に攻められたものの、その後の一球の精度や配球の甘さを突かれ8失点。「追い込んでからどう打ち取るか」という、次の一歩（Thinking Baseball）への明確な課題が見つかる、価値ある登板となりました。
- **K.M**選手（投手スコア：**7点**）
初球ストライク、先頭打者アウトを確実に計測。短いイニングの中で自らのリレーの役割をきっちりと遂行しました。

今試合の個人獲得スコア一覧

指導部が集計した総合トータルスコアです。お互いのミスや課題を全員でカバーし合った結果が、美しい数字となって表れています。

選手名 （学年）	野手スコア	投手スコア	総合スコア	特記事項・輝いたプレー
K.I （中2）	11点	39点	50点	投手39点の大爆発！圧巻の救援で総合最高タイのMVG！
T.H （中2）	17点	27点	44点	野手最高17点（状況判断10点）。マウンドの悔しさを打撃と守備でカバー！
K.M （中2）	15点	7点	22点	驚異の状況判断10点を含む野手15点、投手7点と縦横無尽の貢献。
Y.M （中3）	12点	0点	12点	大爆発の5塁打相当を放ち、最上級生としての存在感を発揮！

K.Y （中3）	12点	0点	12点	初球フル4点に4塁打相当。高い打撃技術で打線を牽引。
K.T （中2）	9点	0点	9点	タイムリー3塁打に加え、作戦遂行をきっちりこなす頼れる主軸。
T.O （中1）	7点	0点	7点	攻撃における確実な作戦遂行を見せ、ジュニア層として大貢献！
R.S （中3）	5点	0点	5点	初球フルスイングなど、最上級生としての役割を確実にクリア。
T.S （中2）	4点	0点	4点	基本を忠実に実行し、野手4点を手堅くマーク。

指導部総括

最終スコア10-9という大激戦を制したこの試合は、選手たちの「粘り強さ」と、今後に向けた明確な収穫・課題が浮き彫りになった非常に濃い一戦でした。

今回の最大の収穫は、大ピンチの場面で2番手として圧巻の火消しを見せた**K.I**選手のクオリティの高い投球です。試合を完璧に立て直して勝利を呼び込みました。また、大量失点している局面でも集中力を切らさず「アウトカウント把握：10点」を記録した**T.H**選手と**K.M**選手の連動、そして最上級生の長打や各員の機動力が噛み合い、全員でカバーし合って掴み取ったこの勝利は、チームにとって大きな財産となります。

一方で、失点パターンはチーム全体の貴重な教訓（反省材料）です。「ストライクを取った後、追い込んだ後にどう打ち取るか」。この一球の重みをチーム全体で突き詰め、さらに進化した「考える野球（Thinking Baseball）」へと昇華させていきます。

ボーンヘッド「ゼロ」という高い規律の土台の上に、さらなる精緻さを加え、目前に迫る公式戦へと備えていきます！

熱いゲームをご観戦・応援いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。引き続き、温かいご声援をよろしくお願いいたします！